

# 国語

## ○ CONTENTS ○

1	漢字の読み書き(1)	2
2	漢字の読み書き(2)	11
3	漢字の読み書き(3)	20
4	漢字の知識(1)	29
5	漢字の知識(2)	31
6	漢字の知識(3)	33
7	熟語の知識(1)	36
8	熟語の知識(2)	39
9	熟語の知識(3)	42
10	語句の知識(1)	45
11	語句の知識(2)	48
12	語句の知識(3)	51
13	文法の知識(1)	53
14	文法の知識(2)	58
15	文法の知識(3)	63
16	現代仮名遣い(1)	68
17	現代仮名遣い(2)	69
18	現代仮名遣い(3)	70
19	国語の諸知識(1)	71
20	国語の諸知識(2)	73
21	国語の諸知識(3)	76

# 1 漢字の読み書き(1)

1 次の——線部の漢字の読みがなを書きなさい。

- ① ビカンはスペイン出身の著名な画家だ。  
 □② 高校生の棋士が主人公の小説が人気だ。  
 □③ ランナーは沿道からの声援に奮い立った。  
 □④ 好きな音楽を聴きながら憩いのひとときを過ごす。  
 □⑤ 原作を換骨奪胎したきわめて現代的な解釈だったが、  
 □⑥ 毎回暴動でも起きるのではないかというような騒然とした雰囲気になったのだが、  
 □⑦ 正確な人数を把握する。  
 □⑧ 私の家は和洋折衷の造りである。  
 □⑨ 僅差で勝利する。  
 □⑩ 寒さが緩む。  
 □⑪ 会の運営は会費で賄う。  
 □⑫ 進行に差し支える。  
 □⑬ 暗闇の中を凝視する。  
 □⑭ 憧れの地へ旅立つ。  
 □⑮ 満天の星を仰ぐ。  
 □⑯ 郷士の偉人を顕彰する。  
 □⑰ 何年かに一人の逸材と注目される。  
 □⑱ 町の発展を促す。  
 □⑲ 厳かな式典に参加する。  
 □⑳ 美しい旋律が聞こえる。  
 □㉑ 体育館使用の許可を申請する。
- 〈宮城―前期〉  
 〈岩手〉  
 〈青森〉  
 〈北海道―裁量〉  
 〈北海道〉

- ㉒ 窓の向こうの空気がいつもよりずっと冷たく張り詰めているのを察知した。  
 □㉓ 以前よりも軽やかに、鮮やかに、流れるように。  
 □㉔ ひとりの人間が個別になにか作業をするよりも、  
 □㉕ ひとりひとりが独立して考えていては克服できなかった。  
 □㉖ 「そうだ」の「だ」を省き、  
 □㉗ 各国の要人が頻繁にいらっしゃるそう、  
 □㉘ 後ろに気配を感じたのでふり返ってみると、  
 □㉙ 風邪をひいていて、熱が急に上がったらしい。  
 □㉚ つい先日まで村であったところが、合併されて市になった。  
 □㉛ 至っていつも通りなのだ。  
 □㉜ 声を絞り出すようにして、こころはやつと言った。  
 □㉝ 雨音先生や片岡先輩には、恩がある。  
 □㉞ 情動は状況の価値的なあり方を誤って捉え、それゆえその状況に、  
 □㉟ 有頂天になりそうなときに、そのような過剰な喜びを生み出す情動能力を、  
 □㊱ 一連の巧妙な実験によって明らかにしています。  
 □㊲ メカニズムについて、鋭い洞察が得られています。  
 □㊳ コロニー全体としての優れた遂行が生まれるようです。  
 □㊴ 桜の花が咲く。  
 □㊵ 部屋を掃除する。  
 □㊶ 舞台上上がる。  
 □㊷ 濃厚なスープ。  
 □㊸ 時間を稼ぐ。  
 □㊹ 新記録に挑む。
- 〈宮城―後期〉  
 〈秋田―前期〉  
 〈秋田―一般〉  
 〈山形〉  
 〈福島〉  
 〈茨城〉  
 〈栃木〉

- 45 彼女は賢い人だ。
- 46 現状を把握する。
- 47 一斉に歓声をあげた。
- 48 緩やかな坂を上る。

〈群馬―前期〉

- 49 「ありがとう」は素晴らしいものとして賞賛するときに用いる言葉です。
- 50 口先だけで表情の伴わない「ありがとう」は感謝を表すことにもうなっていない。
- 51 首をたてに動かすことが全くなかったらとてもやりづらくなるはずです。
- 52 ヒト同士の関わりの中で頻繁に表出されているうなづきは

〈群馬―後期〉

- 53 養蜂について調べる。
- 54 エジプト文明が隆盛を極める。
- 55 萎えた気持ちを奮い立たせる。

〈埼玉〉

- 56 詳しい状況を尋ねる。
- 57 緑の芝生は市民の憩いの場だ。
- 58 作品の巧拙は問わない。
- 59 これはあくまでも暫定的な計画である。

〈千葉―前期〉

- 60 貪るように本を読む。
- 61 今年の冬は殊に寒い。
- 62 穩便に取り計らう。
- 63 海岸に押し寄せる魚を一網打尽にする。

〈千葉―後期〉

- 64 洋服のほころびを繕う。
- 65 日本の伝統的な舞踊を鑑賞する。
- 66 午後の列車には若干の空席がある。
- 67 善戦するも一点差で惜敗し、優勝を逃す。
- 68 忙しさに紛れて、弟に頼まれた用事を忘れる。

〈東京〉

- 69 人生の岐路に立つ。
- 70 彼の苦衷を察する。
- 71 銀行から融資を受ける。
- 72 焦燥に駆られる。

〈神奈川〉

- 73 彼の頼みを快く受け入れる。
- 74 友人と肩を並べて家路についた。
- 75 祖母を慕って会いに行く。
- 76 新発売の製品を宣伝する。
- 77 図書館へ頻繁に行くようになった。
- 78 国会で条約の批准を承認する。

〈新潟〉

- 79 言葉を憤む。
- 80 機敏な行動をとる。
- 81 依頼を承諾する。

〈富山〉

- 82 他人の干渉を受けないで品位を保とうとする。
- 83 日本人ボランティアを募り、プライドを感じるとき。
- 84 売り上げ目標みたいなのを掲げて、それを達成しなきゃいけない。
- 85 イワシの水気を布巾で吸い取り、大鍋に並べている。

〈石川〉

- 86 勝敗の行方を見守る。
- 87 いつも朗らかに笑う。
- 88 技に磨きをかけて試合に出る。
- 89 人生の岐路に立つ。

〈福井〉

- 90 クニマスの稚魚を育てる。
- 91 抑揚をつけて詩を朗読する。
- 92 緻密な計画を練り上げる。
- 93 栄養の偏りに気をつける。

□94 心地よい風にカーテンの裾が揺れる。

〈山梨〉

□95 対話の中から得たものは、私たちの行為の核心になります。

□96 自分の周囲の社会という場、

□97 社会という場と絶えずつながっていることです。

□98 対話 dialogue の語源は、ギリシア語の〜です。

□99 思想の中心的位置を占めるのは、

□100 たえず十分に考慮し、話している中で、

〈長野〉

□101 自然の恩恵を受ける。

□102 新しい目標を掲げる。

□103 歩きながら額の汗を拭う。

□104 試合の均衡が破れる。

□105 汎用性の高い方法を使う。

〈岐阜〉

□106 炊事場のかめに水を蓄えておく、

□107 手ごろな石を敷いて様子を見た。

□108 自分の解釈を加えて、

〈静岡〉

□109 世界中で生涯スポーツが奨励されている。

〈愛知―A〉

□110 二勝二敗で迎えた団体戦の勝敗は、最後の選手に委ねられた。

〈愛知―B〉

□111 涼しい風が吹く。

□112 しばらく休憩を挟む。

□113 克明に記録する。

〈三重―前期〉

□114 木の枝が揺れる。

□115 自転車のハンドルを握る。

□116 大会の結果が新聞に掲載される。

□117 雑草が野原に繁茂する。

〈三重―後期〉

□118 出席者に賛否を問う。

□119 ひもを束ねる。

□120 要求を退ける。

□121 畑を耕す。

□122 弟の書いた作文を添削する。

〈滋賀〉

□123 芭蕉の風雅に臨む姿勢を主人公に投影させ、

□124 風雅の道を極めようとする姿勢がいかに真摯なものであるか、

〈京都―前期〉

□125 代々の家系によって受け継がれ、幼いころから、

〈京都―中期〉

□126 泳ぐうえでは都合が良い形です。

□127 からだに生えていた毛がなくなりました。

□128 少しでもからだのこぼが減って、より水の抵抗が小さくなるわけです。

□129 ひょっこり姿を現しそうな可愛らしい風景だ。

□130 小さい頃から、別荘に来るたびに舟をこいでいたからね。

□131 自分の行きたい方向と客船の行く先が一致している場合は、

〈大阪―特選A〉

□132 山が途切れて沢になっており、唐突に海に入っていく場所だった。

□133 低空のグライダー滑空をしながら、私たちの真上を飛んでゆく。

□134 その中の一羽、際立って美しかった一羽が、

□135 様々な思考を巡らせることが必要です、

□136 信じるに値する経緯が述べられていたり、

□137 納得に至る意味づけを模索し続けています。

〈大阪―特選B〉

□138 大空を自由に飛びまわる鳥の姿を想像しながら、

□139 九州の人は依然として「やっぱり、うまかな」と舌つづみを打って、

□140 極端に言えば、同じことばでも、

- 141 家屋には、普通、玄関があり居間があり台所があり
- 142 文章表現上の暗黙のルールといえよ
- 143 評論家などの作品を丹念に読んでみる
- 144 それはベダンチックな人の陥る誤解である。
- 145 古典を顧みないというのは固より悪いことである
- 146 知識欲の旺盛を示すものであって排斥すべきことではない
- 147 弁明しようとしたはつちを赤緒が辛辣な口調で遮る。
- 148 赤緒がふいと顔を背けた。
- 149 そんな挨拶を交わして、いつものようにお茶の先生の家を出る
- 150 まだ寒の戻りもある
- 151 絶好の日和に恵まれる。
- 152 飛行機が旋回する。
- 153 風景を描写する。
- 154 友人を論ずる。
- 155 甘い香りが漂う庭に足を踏み入れる。
- 156 優雅な身のこなしに思わず見とれる。
- 157 昨日の失敗について謝る。
- 158 国道の車の流れが滞る。
- 159 この神殿の周辺は聖域とされている。
- 160 選手の出場資格を剥奪する。
- 161 道が狭まる。
- 162 文章の添削指導を受ける。

〈大阪―一般A〉

〈大阪―一般B〉

〈大阪―一般C〉

〈兵庫〉

〈奈良〉

〈和歌山〉

〈鳥取〉

〈鳥根〉

- 163 もう少し詳しい説明を求めたりします
- 164 自慢して自分の崇拜者を得ようとする。
- 165 夢心地がクラブの休憩室へ入ったとたんに崩れてしまった。
- 166 何かその空想の邪魔をしているのが感じられる。
- 167 激しい葛藤や対立が起きることもある。
- 168 小説が雑誌に掲載される。
- 169 貴重な時間を割いていただく。
- 170 目標を掲げる。
- 171 明治時代の趣が残る通りだ。
- 172 示唆に富む話を聞く。
- 173 使用する頻度が高い。
- 174 真っ赤なケチャップに、涙が垂れる。
- 175 休憩時間になり、水泳帽を被った
- 176 母がまた唐突に言った。
- 177 今日母は、まるで友達みたいな口調で話す。
- 178 新入生を部活動に勧誘する。
- 179 煩雑な手続き。
- 180 弟は皆が羨むほど足が速い。
- 181 脈を診る。
- 182 果敢に挑戦する。
- 183 郷土の誉れとなる。
- 184 顕著な変化が現れる。

〈岡山―特選〉

〈岡山〉

〈広島〉

〈山口〉

〈徳島〉

〈香川〉

〈愛媛〉

〈高知―A〉

□185 涼しげな表情。

〈高知―B〉

□186 西洋のノベルの訳語に「小説」の語を宛てるのが次第に一般化していく。

□187 厳密に考えると矛盾だらけになってしまうのだが。

□188 日本語の時制が一見曖昧に見えるのは。

〈佐賀―特色〉

□189 遣伝子の突然変異は頻繁に起きており。

□190 思想の力の有無は決まっているのです。

〈佐賀―一般〉

□191 慌てて頭を下げた。

□192 これは絵画にも同様に言えます。

□193 個人の内面を吐露するのが日記であるという考え方はいささか単純です。

〈長崎〉

□194 深夜の沈黙は私を厳粛にする。

□195 私の前には机を隔ててお前たちの母上が坐っている。

〈熊本〉

□196 気を緩めないよう戒める。

□197 描写が精緻を極めている。

〈大分〉

□198 学問を奨励する。

□199 人形を巧みにあやつる。

□200 人類はその謎に挑みつづけてきたのだ。

〈宮崎―推薦〉

□201 星子が語り終えるまで青柳は辛抱強く耳を傾けた。

□202 ただ狭い車内で、自分の立ち位置を決めた瞬間。

□203 なまあたたかい空気にただ浸っているのを、いったんやめる。

〈宮崎―一般〉

□204 工夫を凝らす。

□205 試合に臨む。

□206 依頼を快諾する。

□207 木の実を拾う営み、すなわち漁労も含めて狩猟採集を行ってきた。

□208 作物を収穫する農耕、そして家畜を飼育する牧畜も行ってきた。

〈沖縄〉

2 次の――線部のカタカナを漢字に直して書きなさい。

□1 アサガオのつるがフクザツにからみ合っている。

□2 私たちの地域ではあいさつ運動をスイシンしている。

□3 風に乗ってタンポポの綿毛が遠くまでトばされる。

□4 犬も歩けばボウに当たるといふことわざがある。

□5 自分にとっては陳腐な表現に思えることに、他人が大感激してシラけることもある。

〈北海道―裁量〉

□6 卒業生の前途をシユクフクする。

□7 キゲキ映画を鑑賞する。

□8 レコード会社とセンゾクの契約を結ぶ。

□9 ニガワライを浮かべる。

□10 日光をアびる。

〈青森〉

□11 契約を代理人にユダねる。

□12 ケンプンを広めようと旅に出る。

〈岩手〉

□13 渡り鳥のムれが旅立つ。

□14 日がクれて辺りが暗くなる。

□15 図書館は知識のホウコだ。

□16 万国ハ克蘭会が開催された。

〈宮城―前期〉

□17 朝起きて顔をアラう。

□18 時計のハリが進む。

- 19 注意事項をネットウに置いて行動する。  
 □20 贈り物を紙で丁寧<sup>ニ</sup>にホウソウする。

〈宮城―後期〉

- 21 ああ、なんでそんなタンジュンなことに気づかなかつたんだろう。  
 □22 いろんなものを背負いこんでしまったマズしい画家の背中。  
 □23 先人の知恵をかり、社会の中でさまざまな人と記憶を共有する。  
 □24 この本もまた、そのためにソンスイしている。

〈秋田―前期〉

- 25 「日がくれそう」と表現することはあつた。  
 □26 試しに何冊か国語ジテンを引いてみる。

〈秋田―一般〉

- 27 朝食は元気のミナモトだ。  
 □28 専門家に判断をユダねる。  
 □29 食品を冷蔵庫にホゾンする。  
 □30 リンキ応変に対応する。  
 □31 バスのウンチンを払う。

〈山形〉

- 32 親に荷物をアズける。  
 □33 姉に手伝ってもらえたのでタスかつた。  
 □34 瀬戸内海エンガンの町を訪れる。  
 □35 学校全体でごみのゲンリヨウに取り組む。

〈福島〉

- 36 点差がチヂまらないのは、諦めじゃないのか？  
 □37 もっとムズかしい状況でも、彼女なら決められるはずだ。  
 □38 先輩たちは、視線をオヨがせる。

〈茨城〉

- 39 ホームランをウツ。  
 □40 ヤツキヨクに行く。  
 □41 羊をホウボクする。  
 □42 法律のセンモン家。

- 43 心をフルい立たせる。

〈栃木〉

- 44 荷物をトドける。  
 □45 シャワーをアびる。  
 □46 銀行にシユウシヨクする。  
 □47 人工エイセイを打ち上げる。  
 □48 二人の性格はニている。

〈群馬―前期〉

- 49 魚屋をイトナム。  
 □50 観光地をオトズレル。  
 □51 メンミツな計画を練る。  
 □52 相手の意見をソンスヨウする。

〈漢字に送り仮名を付けて書くこと〉  
 〈漢字に送り仮名を付けて書くこと〉

〈群馬―後期〉

- 53 国家間で互いのケンエキを争う。  
 □54 的をイた質問をする。

〈埼玉〉

- 55 彼は調査隊をヒキいて北極点を目指した。  
 □56 ケワしい山道を登る。  
 □57 飛行機のモケイを作る。  
 □58 セツビの整った体育館で練習する。  
 □59 簡単にできると思っている、ユダンタイテキだ。

〈千葉―前期〉

- 60 ごはんをよくムらす。  
 □61 体操で体を弓なりにソらす。  
 □62 鉄道のウンチンを調べる。  
 □63 客船がキテキを鳴らす。  
 □64 ランオウに砂糖を混ぜてお菓子を作る。

〈千葉―後期〉

- 65 浜辺で美しい貝殻をヒロウ。  
 □66 母のキヨウリから、みかんが届く。

- 67 今年の春から、姉は図書館にキムムする。  
 68 幼い妹たちの言い争いをチユウサイする。  
 69 帰宅すると、愛犬がイキオいよく駆け寄ってきた。  
 70 自分が住む町の歴史をシラべる。  
 71 ひまわりの種からメが出た。  
 72 ガリレオは地動説をトナえた。  
 73 プールにスイエイの選手が集まる。  
 74 医学の発展にコウセキを残す。  
 75 職人のエンジユクした技を継承する。  
 76 オサナイ弟の世話をする。  
 77 紅茶にサトウを入れる。  
 78 演奏をロクオンする。  
 79 日本人とは異なる国民性がハンエイされている可能性、  
 80 年齢をへれば、あるいは社会的地位が向上すれば、  
 81 お客様の多くが固定客、ジヨウレン客になってくださる、  
 82 当てがはずれ困惑している感じだった。  
 83 知的サイサンを保護する。  
 84 決勝戦の前にフルい立った。  
 85 文学作品をヒヒョウする。  
 86 チームがイチガンとなって戦う。  
 87 健康は私のサイサンだ。  
 88 顕微鏡のバイリツを上げる。  
 89 文学作品をヒヒョウする。  
 90 的をいた質問をする。  
 91 いつも笑顔をやささない。

〈東京〉

〈新潟〉

〈富山〉

〈石川〉

〈福井〉

- 92 ケッキヨク、二句披露したところで試合が終わってしまった、  
 93 水のイキオいがよすぎて、ホースがどこへ飛び跳ねるかわからない、  
 94 美しい景色に心がナゴむ。  
 95 船のキテキが聞こえる。  
 96 被災地のフツコウを急ぐ。  
 97 消費者のコンランを招く。  
 98 海岸にソつた道を歩く。  
 99 山を照らしていた日差しが、いつの間にかイタダキにのぼりつめて、  
 100 その「粘り強さ」をハグクむのが遊びだ。  
 101 どんなにセイミツな具象画でも、目にした世界を、  
 102 近くの海岸で初日の出をオガむ。  
 103 先日、宇宙飛行士が自らの体験を語るコウエン会が催された。  
 104 チャイムが時をツげる。  
 105 健闘をイノる。  
 106 自然のオンケイを受ける。  
 107 お年寄りをウヤマう。  
 108 結論をミチビク。  
 109 家と学校をオウフクする。  
 110 花屋のカンバンを見つける。  
 111 魚をやいて食べる。  
 112 衣類を箱にシユウノウする。  
 113 昨日ユウビン物が届いた。

〈山梨〉

〈長野〉

〈岐阜〉

〈静岡〉

〈愛知―A〉

〈愛知―B〉

〈三重―前期〉

〈三重―後期〉



- 114 空が赤くソまる。
- 115 ウチュウ飛行士になる。
- 116 これらの実シヨウデータを引きながら、
- 117 作品を残すことが最テイ条件であり、
- 118 荷物をソウコで保管する。
- 119 準備の時間をタンシユクする。
- 120 腹のソコから笑う。
- 121 書店をイトナむ。
- 122 山頂から遠くをノゾむ。
- 123 友人から鉛筆をカリる。
- 124 資料をテイキョウする。
- 125 箱のスンボウをはかる。
- 126 フシをつけて歌う。
- 127 風が校庭にある花をチラス。
- 128 公共のリエキを図る。
- 129 降水カクリツを調べる。
- 130 破竹のイキオいで連勝する。
- 131 両者が闘志をモヤす。
- 132 昼夜のカンダンの差が激しい。
- 133 コシヨウした機械を直す。
- 134 ヒタイに汗をかく。
- 135 自然をウヤマウ心を育む。
- 136 歌曲をリンシヨウする。

〈滋賀〉

〈京都―前期〉

〈京都―中期〉

〈大阪―特選A〉

〈大阪―特選B〉

〈大阪―一般A〉

〈大阪―一般B〉

- 137 胸の奥が冷えて、ハイの在りかをはっきりと感じた。
- 138 目には見えない香りが、マドを閉めた部屋の中にも、
- 139 体育館のソウコ。
- 140 ヒタイに汗をかく。
- 141 畑をタガヤす。
- 142 土地をバイバイする。
- 143 調理実習でキャベツをキザむ。
- 144 最寄りの係員までシキユウご連絡ください。
- 145 猫の尾がタれている。
- 146 集団をヒキいる指導者は必要だ。
- 147 リンカイ工業地帯を見学する。
- 148 人工エイセイを打ち上げる。
- 149 マット運動の授業でソクテンに挑戦する。
- 150 全国大会のマクが開く。
- 151 極く素朴なスガタがあまり見られなくなってしまいました。
- 152 知っているだけでなしに、それらに対してヒビョウもします、
- 153 急に好意的なヒビョウも心にかんできて、
- 154 顔を上げたところに何事かとヨってきた馬上のあの烈しい視線があったので、
- 155 音楽に心を開くことも、タビをすることも、
- 156 豊かな感性をハゲクむ。
- 157 祖母はオンコウな人柄だ。
- 158 贈り物のハウソウ紙を選ぶ。

〈大阪―一般C〉

〈奈良〉

〈和歌山〉

〈鳥取〉

〈島根〉

〈岡山―特選〉

〈岡山〉

〈広島〉

- 159 ヒタイに汗がにじむ。  
 □160 イサましいかけ声が響く。  
 □161 彼はキンベンな人だ。  
 □162 課題曲をエンソウする。  
 □163 各人が各人コエウの価値観を生得的にもっているわけではない。  
 □164 知らず知らず受ける影響が大きなヒジユウを占めていると思われる。  
 □165 自分の純化のココロみは失敗に終わるしかない。  
 □166 他人による保護、ヨウイクをどうしても必要とする。  
 □167 ピアノをエンソウする。  
 □168 エウビン切手を集める。  
 □169 ほめられてテレル。(送り仮名が必要なものは、送り仮名を付けること)  
 □170 町がサカエル。(送り仮名が必要なものは、送り仮名を付けること)  
 □171 条件をレッキヨする。  
 □172 一步シリゾク。  
 □173 キンベンな学生。  
 □174 成功にミチビク。  
 □175 仮に世界をある一つの立場から統括し、整合的に語ることが可能であり、なおかつそのようにツトめなければならぬ、と考えるところに「近代」という時代の理念があったとするなら、  
 □176 絶滅してしまうキケン性が大きくなります。  
 □177 不適切なものは切り捨て、適応できるものを拡大させる。  
 □178 みんなシキユウされたゴマ付きのおにぎりを持って、
- 〈山口〉  
 〈徳島〉  
 〈香川〉  
 〈愛媛〉  
 〈高知-A〉  
 〈高知-B〉  
 〈佐賀-特色〉  
 〈佐賀〉

- 179 急ぎ足で寄宿舎のウラに向かった。  
 □180 第三者というものを前提としない活動の持続も、センモン的な行為の成立もない。  
 □181 私の前にはツクエを隔ててお前たちの母上が坐っている。  
 □182 行け。イサんで。小さき者よ。  
 □183 私は本件では反対ハである。  
 □184 山頂から初日の出をオガむ。  
 □185 ゲンカクな親に育てられる。  
 □186 メンミツな計画を立てる。  
 □187 生徒を客席にミチビク。(送りが必要なものは、ひらがなで正しく送ること)  
 □188 「汝自らを知れ」というカクゲンが刻まれていた。  
 □189 脳の働きとかDNAのシクみとか、  
 □190 台座にアサく腰かけて、  
 □191 どうしても星への思いをスてられなかった。  
 □192 混んだ車内でもそこにいない他者とコウシンしたりゲームを楽しんでいます。  
 □193 努力する人をソクケイする。  
 □194 団子をおソナえる。  
 □195 卒業記念にシヨクジュをする。  
 □196 チームの雰囲気高めるところか、クズしてばかりいる。  
 □197 みんなに気を配りいつもみんなの状況をハアクしようと心掛けた。
- 〈長崎〉  
 〈熊本〉  
 〈大分〉  
 〈宮崎-推薦〉  
 〈宮崎-一般〉  
 〈鹿児島〉  
 〈沖縄〉